

2022年度（令和4年度） 第3回 市政モニターアンケート

【アンケートの趣旨】

今回のアンケートでは、今後の子育て支援施策のあり方や市政モニター制度について、ご意見をお伺いします。

【回答にあたって】

モニターの皆様には以下の質問にご回答いただき、同封の返信用封筒にて送付いただきますようお願いいたします。**【2022年（令和4年）11月24日（木）必着】**

なお、アンケート結果の迅速な集計・分析のために、返信用封筒の宛先を委託業者（公益財団法人 中国地域創造研究センター）としております。

また、①アンケートの回答内容と②回答された方の名前や住所を除く情報（年代、性別、地域、職業等、子育て世帯該当・非該当）を同業者に提供しますが、回答された方が特定されない形で集計・分析し、結果を市ホームページなどで公表します。個人情報の取り扱いには十分留意しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【電子申請システムによる回答へ変更のお願い】

アンケート結果の迅速な集計・分析のために、福山市電子申請システムによる回答にご協力いただける方は、同封の手順書を確認いただき手続きをさせていただきますようお願いいたします。なお、今回から電子申請システムに変更された方は、同封している返信用封筒による提出は必要ありません。次回アンケートから、電子メールによりアンケートの案内をさせていただきます。

【アンケート内容】

1 今後の子育て支援施策のあり方について

本市では、2017年度（平成29年度）に福山ネウボラを創設、市内13か所にネウボラ相談窓口「あのね」を開設し、母子保健と子育て支援を一体的に提供しながら、妊娠、出産、子育てについて、切れ目のない支援に注力してきました。

本市の今後の子育て支援施策のあり方についての参考とするため、次の質問にお答えください。

問1 福山市が「福山ネウボラ」に力を入れていることを知っていましたか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

- | |
|---|
| <p>() ①知っていた</p> <p>() ②「福山ネウボラ」という言葉は知っていたが、力を入れていることは知らなかった</p> <p>() ③「福山ネウボラ」という言葉も、力を入れていることも知らなかった</p> |
|---|

問2 「子育てしやすいまち」と聞いて特にイメージするものは何ですか。次の中から当てはまるもの上位5つに「○」を記入してください。

- () ①保育料など子育てに係る費用の負担が少ない
- () ②公共施設の利用料が子どもは無料である
- () ③妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある
- () ④保育所や放課後児童クラブが充実している
- () ⑤待機児童がない
- () ⑥一時保育や病児保育などの保育サービスが充実している
- () ⑦子育てについて気軽に相談できる場所がある
- () ⑧子育てについて専門的な相談が受けられる場所がある
- () ⑨仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革に行政が取り組んでいる
- () ⑩男性の育児休暇取得を推進している
- () ⑪親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所が充実している
- () ⑫教育環境が充実している
- () ⑬小児医療機関が充実している
- () ⑭商業施設が充実している
- () ⑮特にない
- () ⑯その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください。）

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問3 福山市が十分取り組んでいると思うことは何ですか。次の中から当てはまるもの上位5つに「○」を記入してください。

- () ①保育料など子育てに係る費用の負担が少ない
- () ②公共施設の利用料が子どもは無料である
- () ③妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある
- () ④保育施設や放課後児童クラブが充実している
- () ⑤待機児童がない
- () ⑥一時保育や病児保育などの保育サービスが充実している
- () ⑦子育てについて気軽に相談できる場所がある
- () ⑧子育てについて専門的な相談が受けられる場所がある
- () ⑨仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革に行政が取り組んでいる
- () ⑩男性の育児休暇取得を推進している
- () ⑪親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所が充実している
- () ⑫教育環境が充実している
- () ⑬小児医療機関が充実している
- () ⑭商業施設が充実している
- () ⑮わからない
- () ⑯その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください。）

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問4 福山市がさらに取り組む必要があると思うことは何ですか。次の中から当てはまるもの上位5つに「○」を記入してください。

<p>() ①保育料など、子育てに係る費用の負担を少なくする</p> <p>() ②公共施設の利用料を子どもは無料にする</p> <p>() ③妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある</p> <p>() ④保育施設や放課後児童クラブの充実</p> <p>() ⑤待機児童の解消</p> <p>() ⑥一時保育や病児保育などの保育サービスの充実</p> <p>() ⑦子育てについて気軽に相談できる場所の充実</p> <p>() ⑧子育てについて専門的な相談が受けられる場所の充実</p> <p>() ⑨仕事と子育てを両立するための働き方改革の推進</p> <p>() ⑩男性の育児休暇取得の推進</p> <p>() ⑪親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所の充実</p> <p>() ⑫教育環境の充実</p> <p>() ⑬小児医療機関の充実</p> <p>() ⑭商業施設の充実</p> <p>() ⑮わからない</p> <p>() ⑯その他 (具体的に以下の自由記述欄にご記入ください。)</p>
--

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問5 子育てに喜びや幸せを感じるために必要だと思うことがありましたらお答えください。

(自由記述欄)

<hr/> <hr/> <hr/>

2 市政モニター制度について

この市政モニターは、幅広い世代の様々な立場の皆様からご意見をいただき、市政運営につなげることで、市民に身近な姿勢を実現することを目的に導入しました。

これまで、合計7回で28の主要テーマについて伺い、ご意見を施策に反映することができました。

今後、皆様からの意見をどのように聴くかを検討するため、次の設問にお答えください。

○意見を反映した主なもの

【施策】

- ・みらい創造ゾーンでは、市民が各種イベントやスポーツなどに利用できる多目的広場とし、開場時間や利用料について、既存施設の状況を踏まえ、条例を制定し、供用を開始した。
- ・多文化共生社会のまちづくりでは、やさしい日本語や多言語による行政・生活情報の提供として、市ホームページに「やさしい日本語」変換機能を導入した。
- ・行政のデジタル化では、ネウボラ相談や外国人相談について、オンライン対応が可能となった。
その他、公共施設予約システムで空き状況が確認できる施設を追加している。
- ・行政サービスの質の向上として、死亡届出後や出生届出後の手続を1つの窓口で受け付ける、「おくやみワンストップ窓口」、「出生ワンストップ窓口」を開設した。

【計画】

- ・「福山市子ども読書活動推進計画(第3次)」の策定に際し、アンケート結果を策定委員会に資料として提供し、計画に盛り込んだ。
- ・アンケート結果等を踏まえ、福山市地域戦略を策定した。

【その他】

- ・一般国道2号福山道路整備促進期成同盟会が設立され、東京等への提言活動が行われる中で、その活動に必要な説明用資料として市民の福山道路等への整備促進期待度を報告し、整備の必要性について提言を行った。
- ・福山城博物館の展示リニューアルでは、アンケート結果を受け、映像データの充実や体験型のコンテンツを盛り込むなど、わかりやすい展示とした。
- ・「福山城400年博-FUKUYAMA CASTLE EXPO2022-」では、「若者の関心を高める必要がある」「若者が参加したくなるようなイベント内容もあった方がいい」とのご意見を踏まえ、最先端のデジタルアートイベントである「チームラボ福山城 光の祭」や「ふくやま駅前マルシェ」といった若い世代の関心度が高いイベントの情報発信に努めている。

問1 市政モニターに登録した理由について、当てはまるもの1つに「○」を記入してください。

- () ①市政に興味があるから
- () ②市に思いを伝えたいから(市政に対して自分の意見を述べる場になるから)
- () ③家族・友人・知人などに勧められたから
- () ④市政モニターに興味があったから
- () ⑤その他(具体的に以下の自由記述欄にご記入ください)

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問2 市政モニターとしてこれまでアンケートに回答してきて、どうでしたか。次の①～⑮についてそれぞれ当てはまるもの1つに「○」を記入してください。

	そう思う	ややそう思う	言えない どちらとも	あまり そう思わない	まったく そう思わない
①生活に密着したテーマで回答しやすかった					
②毎回異なるテーマで市政全般について考える契機となった					
③市政の課題が分かった					
④興味の持てるテーマであった					
⑤市政に関する新たな情報を得ることができた					
⑥市に自分の意見を言うことができた					
⑦市政に興味を持つきっかけになった					
⑧市政に関するほかの人の意見を知ることができた					
⑨市政を身近に感じるようになった					
⑩市の施策に自分の意見を活かすことができた					
⑪実施回数（年4回）が多かった					
⑫設問数が多かった					
⑬記述が多かった					
⑭設問内容が難しく回答しにくかった					
⑮意見がどう反映されたのかわからない					

問3 これまで電子申請と郵送でアンケートを実施してきましたが、集約までに時間がかかっていました。今後、市公式 LINE を活用したアンケートを検討していますが、参加をしたいと思いますか。当てはまるものに「○」を記入してください。また、その理由を自由記述欄に記入してください。

<input type="checkbox"/> ①参加したい <input type="checkbox"/> ②内容によっては参加したい <input type="checkbox"/> ③参加したくない
--

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問4 市政モニター制度についてご意見がありましたら記入してください。

(自由記述欄)

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

【問合せ先】

福山市市民局まちづくり推進部 まちづくり推進課

☎084 (928) 1217

8:30～17:15(土日祝日を除く)